

TOPICS 北小岩スーパー堤防地 土砂が流出

7月14日(木)午後、豪雨に見舞われた北小岩1丁目では、JR線路下の道路に、地区内から土砂が流れ込み、雨水が滞留して道路が冠水。土砂の撤去等のため、千葉街道一里塚交差点から蔵前橋通り交差点の間が両側とも一時通行止めとなりました。日積算雨量57.5mmとなったこの日、地区内では下水の敷設工事を行っていました。後日、下水管に入った土砂の除去作業もなされています。今後上面整備がすすんだとしても、傾斜のあるまちでは水は低きに流れ、同様の内水氾濫の発生も懸念されます。



当日夕方、土砂撤去後の現地。



元都立高校地学教諭の同会幹事が中心となり対応。男子6名、女子2名のチームが江戸川沿いの3ヶ所を見学。北小岩一丁目にて。

まず、江戸川右岸の北小岩一丁目の現地を、対岸の市川市にある45階の展望施設から見下ろしました(写真)。ここでは、150mの高さから現地とその周辺を一望することが出来ます。区の洪水ハザードマップも点検しながらの説明では、湖底に沈んだダムの上まると同様、住民に犠牲を強いる課題があることに気づいて、特に感じ入った様子でした。

次に、高層マンションの土台のように築台されている堤防、そして市川のスーパー堤防、そして



手前が川側の堤防斜面、奥に千葉街道、右・国道14号、左・JR総武線。スーパー堤防の延長は120m、幅160m、面積1.8haの盛土量約8万m³、区画整理を含む総事業費47億円。江戸川下流では両岸合わせ22kmがスーパー堤防の対象だが、北小岩・篠崎以外、具体的な整備計画はない。

防災とコミュニティ 高校生の目で見た「スーパー堤防」は?

神奈川県藤沢市にある湘南学園の高校生が、7月11日(月)、江戸川のスーパー堤防を訪れました。同校はユネスコスクールに加盟、今日的な課題の解決につながる新しい価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していく学習や活動を行っています。「防災とコミュニティ」を総合学習のテーマとする高2生のフィールドワーク受け入れについて、校長先生から「スーパー堤防取消訴訟を支援する会」宛に依頼があったものです。

「現場を見て、国のやり方を考えさせられた」などの意見が。さらに、スーパー堤防事業に同意していなくても強制的に立ち退かされること、完成した現地に戻らない人たちがいることについて、コミュニティ形成の観点から疑問の声が出されました。(稲宮須美)

て今春、スーパー堤防の盛り土が完了、現在、江戸川区が区画整理事業を行う北小岩の現地へ。最後は、江戸川区役所で区の説明を受ける班と、スーパー堤防化が予定される上篠崎地区へ向かう班に分かれ、上篠崎を訪れた班は、この事業により、480基のお墓もろとも移転させられようとしている、700年の歴史を刻む妙勝寺にて、地元住民とも交流、意見交換を行いました。

高校生からは「コマコマな発言のまま。細切れの意。堤防では意味をなしていない」「現場を見て、国のやり方を考えさせられた」などの意見が。さらに、スーパー堤防事業に同意していなくても強制的に立ち退かされること、完成した現地に戻らない人たちがいることについて、コミュニティ形成の観点から疑問の声が出されました。(稲宮須美)

●インフォメーション●

「篠崎ビオトープ」生き物環境調査

- 日時: 9月11日(日) 9:30~11:30
- 場所: 江戸川区北篠崎地さき~江戸川河川敷内
- 講師: 東京都環境学習リーダー 重杉 浩さん
- 主催: 生活クラブ運動グループ 江戸川地域協議会

「市民版地域福祉計画」ワークショップ 「江戸川区をこんなまちにしたい」

みんなで一緒に話しませんか?

- 日時: 10月3日(月) 13:30~15:00
- 場所: 小松川市民ファーム (江戸川区東小松川3-35-13-204)
- 主催: 生活クラブ運動グループ 江戸川地域協議会

「江戸川 平和コンサート」

- 日時: 10月8日(土) 13:30~15:30
- 場所: 葛西区民館4階ホール
- 合唱(江戸川少年少女合唱団) 弦楽五重奏(江戸川区音楽家協会)
- 主催: 親江会・平和コンサート実行委員会

それゆけ!タイム 憲法学習会 「憲法改正がなぜ怖いのか」

~緊急事態条項について学ぶ~

- 日時: 10月23日(日) 18:00~19:30
- 場所: タワーホール船堀 4階 研修室
- 講師: 鈴木 篤さん(弁護士)
- 資料代: 300円

お申込み・お問合せ: 江戸川・生活者ネットワークまで tel: 03-5607-5975 fax: 03-5607-6158 email: soreyuke@net.email.ne.jp

羽田空港増便、安全性に疑問

国は、国際競争力の強化、増加する外国人旅行者への対応と地方創生、そして2020年の東京オリンピックパラリンピックへの対応の観点から、羽田空港の強化が必要だと考えています。そして、現行のルートでは、これ以上便数を増やすことができないという理由で、都心上空に飛行経路を設定されることになっています。新しい到着経路は、埼玉県の方から東京都に入り新宿、渋谷、品川と下降して来るもので、これにより発着回数を1時間80回から90回に増やす計画です。

いとう 伊藤 ひとみ
江戸川区議会議員

生活者ネットワークでは、練馬、品川、江戸川など23区のネットが安全性への問題意識から、今年、羽田空港機能強化問題プロジェクトチームを立ち上げました。7月の国交省へのヒアリングでは、安全への配慮がなざりになつていくことが改めて明らかになっています。

各区、一番の心配は着陸時、車輪を出す際に生じる水塊落下や騒音被害です。現在国交省では、東京湾上で車輪を出すよう指導していますが、新ルートでは都内の人口密集地上でそれをやるのをえまません。発着便の増加については、成田空港の機能強化と連携、また首都圏第3の国際空港として建設したものの活用されていない茨城空港の利用も含め、都心上空での低空飛行を避ける計画にすべきです。

夜をさまよう女の子たち

東京都のDV相談件数、児童虐待は年々増え続けています。家庭が安心な場所ではなくなつてしまった女子中高生たちの向かった先を知るため、東京生活者ネットワークのスタディツアーで、夜のまち歩きに参加しました。

制服姿の女の子が道の両側に1mおきに立っています。形を変えながら続く、JK(女子高生)ビジネスの一端です。ツツな格好をした男性がいたるところで女の子たちに声をかけています。さまざまな事

情で家庭から逃げ出し、夜になつても行く当てのない彼女たちに、ナンパを装い、巧みなことばで性産業に誘い込む一つの入口です。まちに出なくともSNSアプリやWEBサイトもその入り口となります。

人身取引がこの国でされている事実。子どもや女性の人権が守られない現実。補導して家に帰すことでは、彼女たちを守ることにならない状況もあります。

居場所を失った少女たちを支える多様な場所や人が必要であるとともに、自分を守るための人権教育と性教育をしっかりと学ぶ機会をつくっていくかなくてはなりません。

もとにし 本西 みつえ
江戸川区議会議員

生活者ネットワークは 東京の 地域政党です

38年の実績

最も身近な自治体議会に議員を送り、地域から生活の課題を解決していきます。現在35の自治体にそれぞれ生活者ネットワークがあり、区議18人、市議33人、都議3人を擁しています。食品安全、医療、水問題など、東京全体の課題には「東京生活者ネットワーク」として取り組んでいます。

江戸川・生活者ネットワークのルール

- ◆議員は交代制
議員を職業とせず、参加の層を広げるため、2期8年で交代します。議員経験者はそのキャリアを地域の市民活動に活かします。東京全体で交代した議員が175人、江戸川では5人。現職を合わせると224人の女性議員を誕生させています。
- ◆議員報酬は市民の活動資金に
生活者ネットワークの議席は市民のためのもの。議員は、報酬から経費を引いた額を生活者ネットに寄付し、市民の活動資金にしています。お金の流れはすべて公開しています。
- ◆選挙はカンパとボランティアで
選挙では、候補者が費用負担することはなく、カンパとボランティアで行なっています。

●活動にご賛同いただける方はカンパをお願いします。 ゆうちょ銀行 口座記号 00170-6 番号 763600 口座名 江戸川・生活者ネットワーク ●